

出エジ 30 出エジプト記 20 章 18 節～26 節

「シナイ契約 (3)」

1. 文脈の確認

(1) シナイ契約は宗主契約である。

- ①当時の政治的な契約形式を採用している。
- ②この契約によって、神はイスラエルの民を正式な契約関係へと招かれた。

(2) シナイ契約の構造

- ①両者が同意する条項（命令と祝福）（20：3～17）
- ②挿入句（20：18～26）
- ③基本条項に付加された諸条項（21：1～23：33）

2. アウトライン

- (1) 民の恐れ（20：18～21）
- (2) 偶像に関する命令（20：22～23）
- (3) 祭壇に関する命令（20：24～26）

3. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。

(1) メシア論の一端を論じてみたい。

仲介者イエス・キリストの本質を教える7つの箇所

このメッセージは、メシア論の一端を論じるものである。

I. 民の恐れ（20：18～21）

1. 恐るべき光景（18a）

(1) 彼らは恐るべき光景を目撃した。

「民はみな、雷と、いなずま、角笛の音と、煙る山を目撃した」

(2) ヘブ 12：18～21

「あなたがたは、手でさわられる山、燃える火、黒雲、暗やみ、あらし、ラッパの響き、ことばのとどろきに近づいているのではありません。このとどろきは、これを聞いた

者たちが、それ以上一言も加えてもらいたくないと願ったものです。彼らは、『たとい、獣でも、山に触れるものは石で打ち殺されなければならない』というその命令に耐えることができなかつたのです。また、その光景があまり恐ろしかったので、モーセは、『私は恐れて、震える』と言いました」

- ①ヘブル人の記憶に刻まれている歴史のひとつま。
- ②こう書けば、誰もがこの出来事を理解した。

2. 民の恐れ

(1) この時の民の状態 (18b)

「民は見て、たじろぎ、遠く離れて立った」

(2) 民の言葉 (19 節)

「彼らはモーセに言った。『どうか、私たちに話してください。私たちは聞き従います。しかし、神が私たちにお話しにならないように。私たちが死ぬといけませんから』

- ①神の権威、栄光、聖なることを目撃した。
- ②自らの罪を認識した。
- ③仲介者の必要性を感じた。
- ④ルカ 5 : 8

「これを見たシモン・ペテロは、イエスの足もとにひれ伏して、『主よ。私のような者から離れてください。私は、罪深い人間ですから』と言った」

- ⑤律法は人の罪を示し、人をメシアに導く。

3. モーセの応答

(1) 神が直接民に語った理由を説明する (20 節)。

「それでモーセは民に言った。『恐れてはいけません。神が来られたのはあなたがたを試みるためなのです。また、あなたがたに神への恐れが生じて、あなたがたが罪を犯さないためです』

- ①恐れる必要はない。
- ②神が民に直接語られた理由は、イスラエルの民に恐れを与えるためである。
- ③それは、死に至る恐れではなく、健全な畏怖の念である。
- ④畏怖の念を持った者は、罪を犯さなくなる。

(2) モーセは仲介者としての行動を開始する (21 節)

「そこで、民は遠く離れて立ち、モーセは神のおられる暗やみに近づいて行った」

- ①民は神に直接応答することをせず、遠く離れて立っている。

- ②モーセは神に近づいて行った。
- ③「暗やみ」に入ると、その中にシャカイナグローリーが輝いているということ。
- ④モーセはメシアの型である。

II. 偶像に関する命令 (20 : 22~23)

1. この命令の背景 (22 節)

「【主】はモーセに仰せられた。『あなたはイスラエル人にこう言わなければならない。あなたがた自身、わたしが天からあなたがたと話したのを見た』」

- (1) 神は目に見える世界を超越している。
 - ①「天から話した」
- (2) イスラエル民は神が話すのを聞き、神の権威を体験した。
 - ①それが恐れの原因となった。
 - ②モーセに仲介者になるように懇願した。

2. 命令の内容 (23 節)

「あなたがたはわたしと並べて、銀の神々を造ってはならない。また、あなたがた自身のために金の神々も造ってはならない」

- (1) 礼拝の対象として、偶像を造ってはならない。
- (2) 銀や金で造ってはならない。
 - ①最初の偶像は、金の子牛であった (32 章)。
 - ②偶像の価値を高めるために、貴金属が用いられる。

III. 祭壇に関する命令 (20 : 24~26)

1. 祭壇を造れという命令

- (1) これは幕屋の設計図が示される前の祭壇である。
- (2) 信仰の行為によって造られる祭壇である。
 - ①族長たちも祭壇を造った。
 - ②目的は、【主】へのいけにえを捧げるためである。

③幕屋建設以降も、このような祭壇は造られた。

(3) 旧約聖書の例

①士6:24

「そこで、ギデオンはそこに【主】のために祭壇を築いて、これをアドナイ・シャロムと名づけた。これは今日まで、アビエゼル人のオフラに残っている」

②士13:19

「そこでマノアは、子やぎと穀物のささげ物を取り、それを岩の上で【主】にささげた。主はマノアとその妻が見ているところで、不思議なことをされた」

③Iサム7:17

「(サムエルは) ラマに帰った。そこに自分の家があったからである。彼はそこでイスラエルをさばいた。彼はまた、そこに【主】のために一つの祭壇を築いた」

2. 祭壇の造り方

(1) 土の祭壇

- ①非常に質素な素材である。
- ②神を礼拝する際の心の在り方を暗示している。
- ③この命令には、祝福の約束が伴っている。

(2) 石の祭壇

- ①石の多い場所で祭壇を造る場合、切り石、のみを当てた石、は使用しない。
- ②カナン人の偶像礼拝者たちは、見事な石で祭壇を築いていた。
- ③のみを石に当てることは、偶像を刻む誘惑を受けることである。
- ④階段を造らない。
- ⑤裸が表れないように。これもまた、カナン人の淫乱な礼拝を避けるためである。
- ⑥この祭壇は、非常に低い。神の前での謙遜を教えている。

(3) ヨハ4:23~24

「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今その時です。父はこのように人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません」

結論: このメッセージは、このメッセージは、メシア論の一端を論じるものである。

聖句: Iテモ2:5

「神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです」

(1) 人でなければ死ねない。

(2) 神でなければ救えない。

仲介者イエス・キリストの本質を教える7つの箇所

1. 人として成長しながら（ルカ 2 : 40）、永遠の昔からおられた（ヨハ 8 : 58）。
「幼子は成長し、強くなり、知恵に満ちていった。神の恵みがその上にあった」
「イエスは彼らに言われた。『まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、わたしはいるのです』」
2. 肉体の疲れを覚えながら（ヨハ 4 : 6）、疲れている人を招かれた（マタ 11 : 28）。
「そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅の疲れで、井戸のかたわらに腰をおろしておられた。時は第六時ごろであった」
「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」
3. 空腹になりながら（マタ 4 : 2）、「命のパン」だと宣言された（ヨハ 6 : 35）。
「そして、四十日四十夜断食したあとで、空腹を覚えられた」
「イエスは言われた。『わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことはありません』」
4. 渴きを覚えながら（ヨハ 4 : 7、19 : 28）、命の水を提供された（4 : 10、7 : 37~38）。
「ひとりのサマリヤの女が水をくみに来た。イエスは『わたしに水を飲ませてください』と言われた」
「この後、イエスは、すべてのことが完了したのを知って、聖書が成就するために、『わたしは渴く』と言われた」
「イエスは答えて言われた。『もしあなたが神の賜物を知り、また、あなたに水を飲ませてくれと言う者がだれであるかを知っていたなら、あなたのほうでその人に求めたことでしょうか。そしてその人はあなたに生ける水を与えたことでしょうか』」
「さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。『だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる』」
5. 「父はわたしよりも偉大な方」（ヨハ 14 : 28）と言いながら、「わたしを見た者は、父を見

た」(ヨハ14:9)と言われた。

「『わたしは去って行き、また、あなたがたのところに来る』とわたしが言ったのを、あなたがたは聞きました。あなたがたは、もしわたしを愛しているなら、わたしが父のもとに行くことを喜ぶはずです。父はわたしよりも偉大な方だからです」

「イエスは彼に言われた。『ピリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたはわたしを知らなかったのですか。わたしを見た者は、父を見たのです。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください』と言うのですか』

6. 墓の前で泣きながら (ヨハ11:35)、死人を蘇らせた (ヨハ11:43)。

「イエスは涙を流された」

「そして、イエスはそう言われると、大声で叫ばれた。『ラザロよ。出て来なさい』」

7. 十字架に付きながら (マタ27:46)、救いを約束された (ルカ23:43)。

「三時ごろ、イエスは大声で、『エリ、エリ、レマ、サバクタニ』と叫ばれた。これは、『わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか』という意味である」

「イエスは、彼に言われた。『まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます』」